

「点灯・消灯で高齢者見守り IoT電球を試験導入」

ビレッジハウス

点灯・消灯で高齢者見守り

IoT電球を試験導入

ビレッジハウス・マネジメント（東京都港区、共同経営責任者・岩元龍彦氏、工藤健亮氏）は、ホームネット（東京都新宿区）と提携して11月30日から、電球のオン・オフによる単身高齢者の安否確認を目的としたIoT電球「ハローライト」を試験的に導入する。

さいたま市のビレッジハウス大谷（10戸）に導入し、その結果をもとに

導入地域の拡大も検討する。ハローライトとはLEDとSIMが一体化しているIoT電球のこと

で、点灯と消灯の状況をチェックし1日の間に人の動きが確認できない場合、電球内のSIMから事前登録した連絡先にメールで知らせる仕組み。